

## 中学校 学級活動指導案

### 1 題材 「高齢者と共に生きる」

内容（２）ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

### 2 題材について

（１）生徒実態 一略一

（２）題材設定の理由

「埼玉県虐待禁止条例」が平成30年4月1日に施行された。この条例では、児童や障害者だけではなく、高齢者も対象となっている。現在の日本は、「人生100年時代」といわれるように、高齢化社会を迎えている。しかし、高齢者を年齢などにより一律に弱者と考え、高齢者に対する偏見や差別を生んでしまうなど、正しい理解がされているとは言い難い状況も見られる。

本題材では、高齢者と自分たちが日常生活で遭遇する場面を想定し、お互いの立場で感じることにについて考え、話し合う。この活動を通じて、多面的・多角的に状況を考え、自分とは背景の異なる他者を理解できる態度を育成したい。また高齢者は、特異な存在ではなく、自分たちもいずれ高齢者となることを自覚して、互いに尊重し合うことが、誰もが生きやすい「共生社会」の実現につながると考え、本題材を設定した。

### 3 指導のねらい

自他の個性を理解して共感的に捉え、共に生きていくために必要なことを考えて行動できる態度を育成する。

### 4 評価の観点と評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
他者の個性を尊重して他者への思いやりを深めることが、集団生活では重要であることを理解している。	よりよい人間関係を築くため、自他のよさを認め合ったり、互いを尊重し協働したりして実践している。	他者への思いやりを深め、共に生きる人間として豊かに成長しようとしている。

### 5 人権教育上のねらい（個別の人権課題「高齢者」）

自分たちと高齢者の立場や状況を理解し、共生社会の実現に向けて考え行動することができるようにする。

### 6 人権教育上の視点

（１）互いの立場を様々な角度から考え、尊重することができる。（技能）

（２）高齢者は、特異な存在ではなく、共に生きていく大切な存在であることを理解している。（知識）

7 展開の過程

(1) 事前の指導

高齢者についてのイメージや高齢者との生活体験などについて、アンケート調査を行う。

(2) 本時の指導と生徒の活動

ア 本時の活動テーマ「高齢者と共に生きるとはどのようなことだろうか」

イ 本時のねらい

○自他のよさや可能性に気付き、よりよい人間関係を築こうとする意欲を高める。

○他者への思いやりを深め、共に生きる人間として豊かに成長しようとする態度を養う。

ウ 展開

◎人権教育上の配慮

	活動の内容	・指導上の留意点 ☆目指す生徒の姿(観点)【評価方法】	資料等
活動の開始	1 事前アンケートの結果を知る。	・高齢者について自分たちがもつイメージの傾向を共有できるよう、アンケート(高齢者にどんなイメージがありますか)の上位結果を提示する。	アンケート結果
	2 マスターズ陸上のクイズについて考える。	・「高齢者=社会的弱者」という捉え方が適切ではないことに気付けるよう、マスターズ陸上のクイズを紹介する。	ワークシート1
	3 本時の課題を知る。	高齢者と共に生きるとはどのようなことだろうか。	
活動の展開	4 高齢者と若者の遭遇場面(A場面)について話し合う。 (1) 個人で考える。 (2) 2人または4人グループで話し合いをする。 (3) 何組または何グループか発表をする。	・設定場面については生徒がイメージしやすいように教師が補足説明をする。 ・学級の実態に応じて、(2)は話し合いに代えてロールプレイを行うことも考えられる。 ◎高齢者は特異な存在ではなく、共に生きていく大切な存在であることに気付くために、同一場面について、現在の自分の思いと、自分が高齢者になった時の思いの両方を想起する場面設定を、ワークシートで提示する。(知識) ☆他者の個性を尊重して他者への思いやりを深めることが、集団生活では重要であることを理解している。(知識・技能)【ワークシート】【観察】	ワークシート2
	5 高齢者と若者の遭遇場面(B場面)について話し合う。 (1) 個人で考える。		

活動の展開	<p>(2) 4人グループで話し合いをする。</p> <p>(3) 各グループで話し合った意見を黒板に掲示する。</p> <p>6 高齢者との接し方について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに、出された意見をホワイトボード（またはA3サイズ程度の紙）に書くように指示をする。その際、現在の自分と50年後の自分を分けて書くよう指示をする。</li> </ul> <p>◎高齢者にも一人一人様々な実情があり、一律の対応が適切とは言い切れないことに気付けるよう、B場面で席を譲られることを必ずしも肯定的に受け止めない意見があった場合、これを取り上げてその理由を問いかける。(技能)</p> <p>◎B場面について上記の意見がなかった場合は、高齢者の多様な実情を踏まえて考えられるように、マスターズ陸上に参加するような高齢者が席を譲られた場合、どのように感じるだろうかと投げかける。(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者という一括りの捉え方だけでなく、一人一人の実情を尊重する大切さに気付けるよう、問いかける。</li> </ul>	
活動のまとめ	7 高齢者の関わり方について自分のめあてを決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねらいに沿った内容を書いている生徒に発表をさせ、学級全体で共有できるようにする。</li> <li>☆他者への思いやりを深め、共に生きる人間として豊かに成長しようとするめあてを書いている。(態度)【ワークシート】</li> </ul>	ワークシート2

(3) 事後の指導

ワークシート2を回収し、教師の励ましの言葉を添えて返却する。

8 板書計画

今日の活動テーマ

高齢者と共に生きるとは  
どういうことだろうか。

<事前アンケートの結果>  
 高齢者のイメージ  
 ・動きがゆっくり  
 ・同じ話をする

<マスターズ陸上>  
 ・男子100m 12秒 72→65歳  
 ・女子走り幅跳 3m99→70歳

< B場面について >

現在の自分	50年後の自分		
※各グループの意見を掲示する			

決めつけずに  
一人一人を考える

お互いを大切にしようことは、豊かな生き方につながる。

ワークシート1

マスターズ陸上を知っていますか？

Q1

マスターズ日本記録の男子100m走で、「12秒72」という記録が出ています。この記録を出した人の年齢を、次の①～④の中から1つ選んでください。

〔平成31年3月31日現在〕

①55歳

②60歳

③65歳

④70歳

Q2

マスターズ日本記録の女子走り幅跳びで、「3m99cm」という記録が出ています。この記録を出した人の年齢を、次の①～④の中から1つ選んでください。

〔平成31年3月31日現在〕

①55歳

②60歳

③65歳

④70歳

マスターズ陸上とは

「マスターズは、ベテランズとも言われ、男女共に満18歳以上であれば、競技成績に関係なく、生涯楽しく同年代の人々と競技ができます。競技クラスは5歳刻みであるため、5年毎にクラス別の最若手となり記録更新・上位入賞のチャンスもあります。」

公益社団法人 日本マスターズ陸上競技連合ホームページ

([https://japan-masters.or.jp/outline/about\\_us.html](https://japan-masters.or.jp/outline/about_us.html)) から引用

マスターズ陸上について

・公益社団法人 日本マスターズ陸上競技連合 <http://www.j-master.gr.jp/>

<解答>

Q1 ③65歳 平成9年に大分県で行われた全日本マスターズで、福岡県の選手が記録。

Q2 ④70歳 平成21年に長崎県で行われた長崎マスターズで、長崎県の選手が記録。

ワークシート2

高齢者と若者とのコミュニケーションをイメージしよう  
～もし、自分が高齢者だったら？～

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

1 以下の場面で、もしあなたがそれぞれの場面にいたらどう感じるでしょう。

【A場面】スーパーのレジの場面

(1) 現在、または数年後の自分

スーパーのレジで、自分の前のおじいさん（おばあさん）が、なかなか財布からお金を出せずに時間がかかっている。

(2) 約50年後の自分

スーパーのレジの支払いで手元がうまく動かさず、まごついているのを後ろの若者がいらつきながら待っている。

【B場面】電車に乗っている場面

(1) 現在、または数年後の自分

電車に乗った時、席が空いていたので座ったが、やがて混みだしてきた。その時、おじいさん（おばあさん）が自分の前に立っていたので、「どうぞ座ってください」と席をゆずった。どんな気持ちから席をゆずったのでしょうか。

(2) 約50年後の自分

自分は60歳過ぎである。一人で電車に乗ったところ、車内は混んでいて満席だった。その時、目の前で座っていた若者が「どうぞ座ってください」と席をゆずってきた。席をゆずられてどんな気持ちになったでしょう。

2 今後、あなたは、高齢者の方とどのように接しますか。自分のめあてを書きましょう。

(事前アンケートの例)

高齢者に関するアンケート(無記名)

- 1 あなたは、自分の親族の高齢者(ここでは65歳以上)とどれくらい接していますか。(父方、母方があるので複数選んでよい)
  - ア 一緒の家に住んでいる
  - イ 県内に住んでいる
  - ウ 住んでいる場所は遠いが、年に1度程度は会っている
  - エ 親族の高齢者はいない、またはほとんど会わない
  - オ その他
  
- 2 あなたは、自分の親族以外の高齢者と接することがありますか。(1つ選ぶ)
  - ア よく接する
  - イ たまに接する
  - ウ ほとんど接しない
  - エ 全く接しない
  - オ 分からない
  
- 3 あなたは、高齢者にどんなイメージがありますか。(複数書いてよい)

---

(B場面に関するグループの話合いの内容を書き出す用紙の例)

※ホワイトボード、またはA3サイズ程度の紙を活用

[     ]班 現在の自分	50年後の自分
-------------------	---------